

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県阿久比町

自治体名：愛知県阿久比町

担当課名：社会教育課

電話番号：0569-48-7311

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	23.94 km ²
人口	28,060 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	1070 人
部活動数	18 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

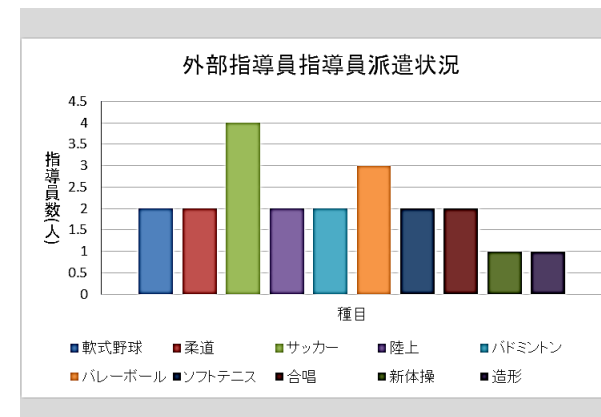
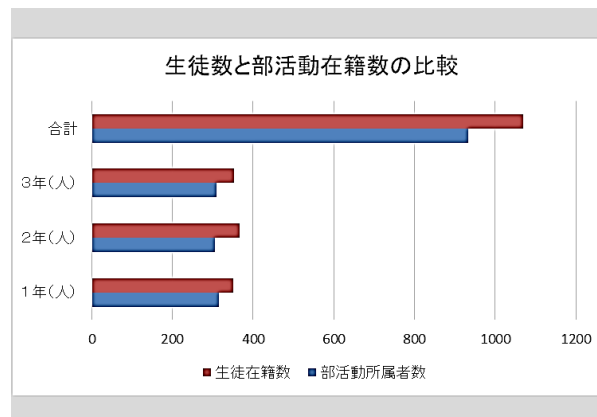
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

中学校では令和4年より部活動を自由参加としているが、在籍する生徒のうち9割弱が部活動を行っている。内訳は在籍者は932人で1年生316人、2年生306人、3年生310人である。（令和6年5月9日現在）また、部活数は運動部で12、文化部で6となっており、中には男女が別になっている部活もある。

現在教員以外の部活動指導を行っている部活動指導員は21名在籍しており、軟式野球、柔道、サッカー、ソフトテニス、陸上、バレーボール、バドミントン、合唱、新体操、造形の種目を行っている。

現在は、教職員の精力的な活動によって支えられているが、教職員の在校時間の増加、指導者としての経験の浅さなどが問題となっており、また参加する生徒の意識の変化などにより以前のような部活動の形を保てなくなりつつある。

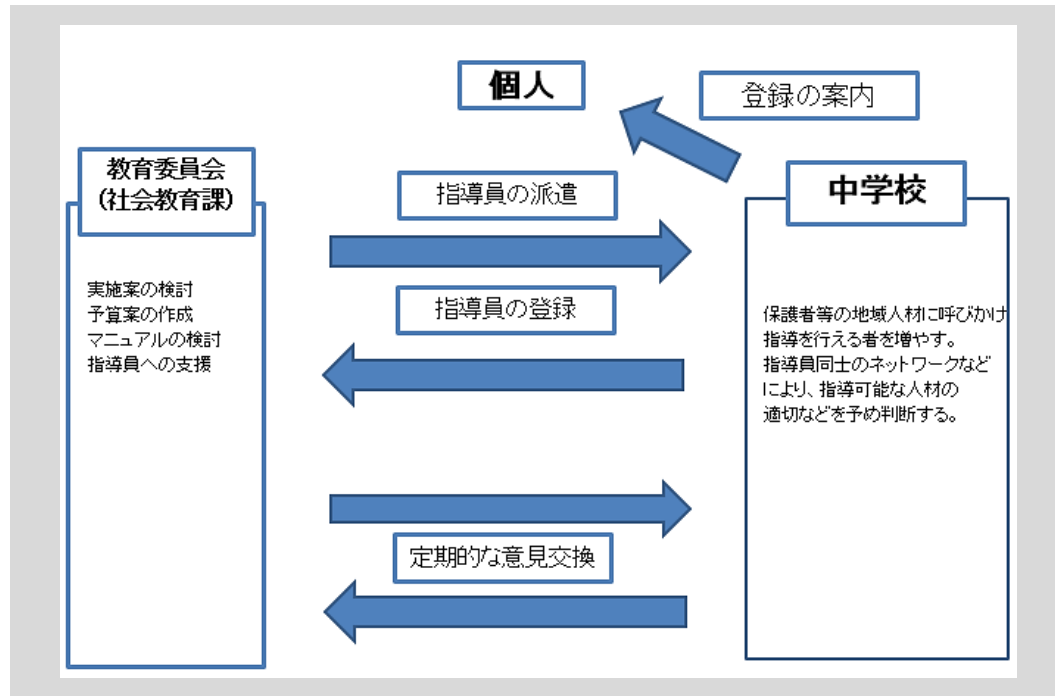
課題としては、学校の代わりに部活動を実施する受け皿及び指導者の確保、生徒の平日と休日の指導者の変更に伴う指導内容の違いへの対応などが想定された。上記課題を解消するように、運動部においては多数の部活動に部活動指導員が在籍していることに着目し文化部活動においては、まず地域人材が指導を担える形になるよう指導員の確保に重点をおく。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

地域移行に関すること全般を担う

年間の事業スケジュール

決まったスケジュールがないため、下記の事柄をその都度実施する。

●中学校は、教員、生徒、保護者から部活動指導の意志及び能力がある者を選定し、当該個人に案内するとともに、申請があった場合は、教育委員会へ登録申請を行う。

●教育委員会は、登録申請があった場合、審査を行い、当該個人が指導員として従事する許可をする。

●指導員は、予め部活動の顧問と打ち合わせた部活動実施時に、適宜指導を行う。

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2 部活動
全体の指導者数	2 人	全体の運営スタッフ数	なし

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
合唱部	中学校・教育委員会	合唱	長期休暇時など適宜	固定的でない	部活動所属者	今年度中	阿久比中学校	1 人	なし	なし	部活動
造形部	中学校・教育委員会	造形	長期休暇時など適宜	固定的でない	部活動所属者	今年度中	阿久比中学校	1 人	なし	なし	部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 各種コンクール、作品展

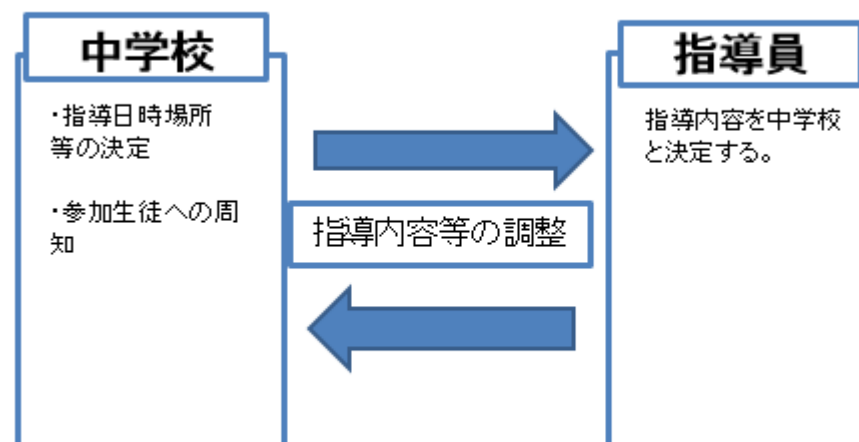
2.実証内容と成果

主な取組例

●合唱部、造形部 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	合唱部、造形部
運営団体名	阿久比町
期間と日数	合唱部、造形部 コンクール前 数回程度
指導者の主な属性	地域の経験者
活動場所	阿久比中学校
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●部活動指導員

役割：教員の部活動の指導の補助を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
/ウ：関係団体・分野との連携強化/エ：面的・広域的な取組/キ：学校施設の活用等

今後の課題と対応方針

年度当初は、指導者などを人材バンクを運営する法人に所属させるなどの方法により移行を実施する予定であったものの、状況の変化により実施することがかなわなかった。

そのため、事業計画を変更し、より試験的な取組として「地域人材による指導員」の確保に取り組むこととした。

上記の方向性については、今年度計画と同じような方法で実施する場合に改めて検討し、実施の方針を勘案することとする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●イ：指導者の質の保障・量の確保/オ：内容の充実

取組事項（イ）

地域クラブへの本格的な移行を見据え、指導を行う指導者としての地域人材を確保する。

取組の成果（イ）

既存の枠組みにおいては、文化部活動への指導を行う指導者が少なく、なかなか増やすことができなかったが、今年度6月に指導員を増やすことができた。

取組事項（オ）

指導員を部活動に派遣させると共に、参加している生徒に地域の指導者が指導を行うことへ慣れさせることを目的として実施した。

取組の成果（オ）

かねてより課題としていた生徒の平日と休日の指導者の変更に伴う指導内容への違いへの対応については、合唱部に指導経験のある指導員を勧誘することができ、複数回の指導を同じ指導者に実施してもらうことができた。

今後の課題と対応方針

本町の部活動の特徴として、文化部活動の外部指導員の在籍者が少なく運動部活動と違い地域移行させることが困難に思われたため今年度は、実際の地域クラブの立ち上げでなく、より試験的な取組として「地域人材による指導員」の確保に取り組むこととした。

その結果、令和6年7月より新たに合唱部に1名指導員を確保することができた。今後は、本格的な地域クラブの設立に向けた方向性の検討を行うとともに実際の運用に近い形で移行を実施する必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

年度当初は、指導者などを人材バンクを運営する法人に所属させるなどの方法により移行を実施する予定であったものの、状況の変化により実施することができなかった。

本町の部活動の特徴として、文化部活動の外部指導員の在籍者が少なく運動部活動と違い地域移行させることが困難に思われたため今年度は、実際の地域クラブの立ち上げでなく、より試験的な取組として「地域人材による指導員」の確保に取り組むこととした。

その結果、令和6年7月より新たに合唱部に1名指導員を確保することができた。

●成果の評価

今年度は途中で目標を変更し、「地域人材による指導員」の確保に取り組むこととした。その結果、令和6年7月より新たに合唱部に1名指導員を確保することができたというのは、一定の成果を上げたといえる。

しかしながら、あくまで一部の部活動においての話であるため、より多くの部活動においてより良い人材を多く確保できるようにしていく必要がある。

●今後に向けて

今後は、「地域人材による指導員」の確保に継続して取り組むとともに、本格的な地域クラブの設立に向けた方向性の検討を行い実際の運用に近い形で移行を実施する必要がある。

そのためには、より多くのステークホルダーに活動を周知するとともに、様々な懸念事項を改善していくことが必要である。

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【第68回 阿久比中学校合唱部 クリスマスコンサート①】



【第68回 阿久比中学校合唱部 クリスマスコンサート②】

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

中学校、教育
委員会間で検
討開始

素案の作成
有識者会議

令和5年

運動部活動
試行実施

結果の振り返り

令和6年

文化部活動
指導員派遣の拡
充

令和7年

地域クラブ活動
の拡大

- 検討開始
- 【ステークホルダー】
町及び中学校
- 【経過】令和4年4月～
教育委員会が主体となり、学校と実
施方式について検討を重ねる。
- 【課題】指導員、参加費、実施場
所など
- 【実施内容等】
状況の確認と問題点の洗い出しを
行った、その中で学校、町が介在しな
い形での団体委託が望ましいという結
論に至り、本事業を担える団体の選定
を開始した。
その後、試行実施内容を外部の部
活動指導員が指導している部活動に
おいて実施することが決まった。

- 運動部活動試行実施
- 【ステークホルダー】
阿久比中学校バドミントン部
- 【経過】令和5年11月から
- 【課題】所属した指導員は1名であ
り、普遍的なスキームを作ることができ
なかった。文化部活動において、振り返
り結果を反映させる必要がある。
- 【実施内容】
事業を委託し、外部の指導員のうち
事業への協力を得られたバドミントン部
にて試行実施を開始し、参加生徒へ
の急激な環境の変化を避けるため、当
該部活動の顧問教諭などと一緒に活
動を行った。

- 文化部活動 指導員派遣の拡充
- 【ステークホルダー】
阿久比中学校造形部、合唱部
- 経過 令和6年7月から
(合唱部)
- 実施にあたって生じた課題
本町は、運動部活動の数が多く、文化
部活動の数が少ない傾向にあり、指導員も
同様の傾向があるため、文化部活動におい
てスムーズに移行できるのかを検討する必
要がある。
- 実施内容、工夫した点 等
実際の地域クラブの立ち上げでなく、より
試験的な取り組みとして「地域人材によ
る指導員」の確保に取り組むこととした、そ
の結果、令和6年7月より新たに合唱部
に1名指導員を確保することができた。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

阿久比中学校 部活動の地域移行スケジュール(案)

令和4年度まで	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実施に関する検討				を 休 完 日 全 の に 運 地 動 域 部 移 活 行 動
	試行実施（運動部活動）			
		試行実施（文化部活動）		
		実施内容の精査及び検討		

- ・ 今後は、試行実施団体の拡充を行い、改めて課題の洗い出しを行う。
- ・ また平日の部活動の実施時間が短縮されていくため、平日の部活動の受け皿も確保していく必要がある。